令和５年度呉市上下水道事業経営審議会（第４回）会議録

１　開催日時：令和５年11月２日（木）９：５５～１０：２５

２　開催場所：つばき会館東棟　２階　会議室

３　出席者：

審議会委員：井手畑委員，中村委員，橋本委員，宗像委員，石田委員，迫越委員

上下水道局：澤村管理者，小川経営総務部長，郷地経営総務部副部長，
野間本技術部副部長，増木技術部副部長，
福島経営企画課長，神垣上下水道総務課長，角井営業課長，
西水道建設課長，富田管路管理課長，後久保浄水課長，
橋本下水建設課長，箱﨑下水施設課長，山徳水道建設課主幹

事　務　局：岡丸主幹，迫田主幹，大村主査，由良主査，倉本主査

４　議題等：

議題　呉市上下水道ビジョン2024～2033（素案）に対する答申について

５　会議録

発言者	発言内容（要旨）
司会者（岡丸経営企画課主幹）	本日は，お忙しい中，御出席いただきありがとうございます。 それでは定刻になりましたので，ただ今から，令和５年度第４回呉市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。 本日は，岩原委員，親谷委員，神田委員，堤田委員におかれましては，欠席されるとの御報告を受けておりますので，お知らせいたします。 それでは，これから会議に入らせていただきたいと思います。審議会の議長は，会長があたることとなっておりますので，中村会長よろしくお願いいたします。
議長 中村会長	本日は，委員１０名中６名に，御出席をいただいております。御多忙中にもかかわらず，御参集いただきありがとうございます。 それでは，議事を進めさせていただきます。 まず，事務局から，事前に送付いただきました呉市上下水道ビジョン（素案）の修正について　資料の説明をお願いします。

岡丸経営企画課主幹	それでは，各委員には事前に送らせていただいた資料ですが，お手元のＡ３版の「呉市上下水道ビジョン（素案）の修正について」の資料について御説明させていただきます。（Ａ３版の資料「別紙１」を御覧ください。） この資料は，本経営審議会での御意見，それからパブリックコメントによる市民の御意見，その他の事項を踏まえまして，ビジョン素案の修正箇所を取りまとめたものです。 １の「呉市上下水道ビジョン（素案）に対する意見募集の結果」の表を御覧ください。令和５年９月 11 日から 10 月 10 日までの 30 日間で市民からの意見募集を行ったところ，２つの御意見をいただいております。 １つ目は，「第３章　基本的理念と基本方針」の【３　体系図】，本編では 33 ページになります。１－３ (4)の施策名のところで，「公共用水域への放流水の水質管理」となっている施策名では，今後「水質管理」をどうしていくのかという方向性を表していないという御意見をいただきました。市の修正案としては，「放流水の水質管理」で止まっている表現を，「放流水の水質管理の徹底」とし，「の徹底」を加えて方向性を示す表現にするものです。関連して，54，59 ページも修正しています。 ２つ目は，「第４章　具体的施策　【３－１　経営基盤及び組織力の強化】」，本編では 85 ページのところで，災害時の給水や復旧に係る職員体制の確保について御意見をいただいております。この点については，本ビジョンの中でも「職員体制再構築計画」における方針である，災害時の職員体制についても盛り込んだ内容としているため，修正は行いませんが，この計画を着実に実行し，引き続き災害時の迅速な給水・復旧体制の維持，向上に努めていきたいと考えております。 次に，２の「呉市上下水道事業経営審議会での意見」の表を御覧ください。 管路経年化率の進行状況を示すページのところですが，「ここだけを見るとこの先呉市の管路がどうなっていくか分からず，読んだ人は非常に不安になるのではないか。」という御意見がございましたので，右側の「市の考え方」のところの下線部の部分ですが，読ませていただきますと， 〔本市水道事業の管路経年化率について〕という見出しを付けまして， 本市の水道管は，法定耐用年数（４０年）を経過しても直ちに更新するわけではなく，管の特性を踏まえ，できる限り長期間使用することとし，おおむね法定耐用年数の１．５倍の年数を経過した管路を更新対象としています。 そのため，法定耐用年数（４０年）を基準とした管路経年化率は上昇傾向にありますが，現在新たに布設している管は材質等の向上により１００年間の使用に耐え得るとされており，法定耐用年数経過後，更に６０年は

	使用できることから，現在の管路更新計画を着実に実施することで安定給水を維持することができます。 という記述をビジョン中に追記しまして，「ビジョンを読んだ人が不安になるのでは」といった点の解消を図りたいと考えています。 また，「３　その他の修正箇所」では，正確な記述への修正，錯誤内容の修正をしています。 以上，Ａ３版の資料の説明をさせていただきました。 続きまして，Ａ４の３枚ものの資料「別紙２」ですが，これは，ただ今説明させていただいた修正部分のビジョン本編での実際の該当箇所を表している資料となります。 なお，修正後の上下水道ビジョン（案）本編をお手元に配布しております。 説明については以上でございます。
中村会長	ありがとうございました。 ただいまの御説明について，何か御質問がございますでしょうか。
迫越委員	今，呉市の水道管は，40 年持つとおっしゃられましたが，さらに 60 年持ちますよとおっしゃられました。 先日，新聞を見ていたら，こういったコラムが入ってたんですけど，呉市は衛星を使った調査の導入をされるということが書いてあるんです。一体どういうことなのかと，私たちには，少し分からない部分があるので，もっと詳しく説明していただけたらと思いますが，いかがでしょうか。
中村会長	ありがとうございました。 事務局の方から，いかがでしょうか。
野間本技術部副部長	衛星を使った漏水調査についてですが，人工衛星から地形を撮影すると，漏水している箇所は，100 メートルの範囲の中で色が付きます。今までは一件一件，漏水調査をしていましたが，この衛星を使った調査では，大体の漏水箇所が分かりますので，範囲を絞って，部分的に，漏水調査をすればいいという方法でございます。 これは，イスラエルの企業が開発したもので，今，全国でも大体 60 から 80 都市ぐらいが採用しているところです。 今後，呉市での導入についても検討中でして，事業費も少し安くなってくるというところです。
中村会長	ありがとうございました。

	よろしいでしょうか。
迫越委員	はい。 こういった事が新聞に掲載されると，どういうことかなと，やはり気になるんですよね。 私が知らない事でも，こういうふうにしてますと内容を詳しく聞けば，先程の水道管の話でもそうですが，あと 60 年を持ちますよと聞けば，また違ってくるなと思って読ませていただきました。 ありがとうございます。
中村会長	他に，ございませんでしょうか。 よろしいでしょうか。
宗像委員	前にも言ったと思いますが，市とか公営企業は元号表記を使わなければいけないのか，マストなのかどうかということです。 要は，ビジョンでは表紙は西暦，中身は全部，元号表記になっています。 平成 25 年と若い子が言われた時に，頭の中でそれが何年頃の事なのかぱっと頭に浮かぶというのは，なかなか難しいと思います。 要は，外部に分かりやすく，誰に対してのビジョンなのかを考えた時に，どうしても元号を使わなければいけないのか，併記という方法もあるのではないか。 もっと市民に分かりやすいような表記にしたらどうですかということは，前から言っていると思いますが，あれから回答がないですが。 要は，最初の表紙は，2024 年から 2033 年，ここは元号を使っていないのに，中身は全部元号を使っているというところです。 今回，どうしても変えられないという事ならば，将来的に，もっと分かりやすい，比較対照しやすい表示を使うべきなのではないかと私は思いますが，これは絶対に使わなければいけないのですか。
中村委員	はい，ありがとうございます。 その点は，いかがでしょう。
小川部長	現在，呉市では，元号で表記をさせていただいておりますので，今回の中身については，元号を使用させていただいているということになります。よろしくお願い致します。
宗像委員	そういうことではなく，使う理由は分かりますが，西暦ではいけないんですか。

小川部長	マストではないとは思いますが，誰に対して，何が一番分かりやすいのかということは考える必要があるとは思います。
宗像委員	要は官公庁に対してのビジョンを出していくのではなくて，市民の方々に出していく，こういうビジョンの冊子なら分かりやすいようにされた方がいいのではないかということです。 官庁だから元号を使っていますというのは分かります。 そうではなく，市民の方に示すには，分かりやすい文章，要は併記するなり分かりやすい表現で，比較対照することができるんですね。 要は何年と比べたら何年，だから何年後はこうですと。その前の話は，平成 25 年から令和 12 年に比べたらとなると，何年経ったのか分かりにくいですよね。やはり，そういうことを考えられると，いいのではないかと思います。
小川部長	ありがとうございました。 元号に限らず，やはり誰に対してどういうふうに説明して，誰が見るのか，知っていただくかというのを，考えていかなければならないと思いますので，貴重な御意見としていただきたいと思います。ありがとうございます。
中村会長	ありがとうございます。 今おっしゃった，お二方の御意見というのは，基本的に対象が市民ということです。 それで，当然，この水道事業というのは，市民のためにある，そういう事業であります。今日は答申という形で，審議会からお渡しすることになっておりますので，今おっしゃられたような，この素案の中や概要版の中で，そういったことを反映できるように，今後，変えていくというところで，いかがでしょうか。
小川部長	今後，そういった場面があれば，誰に対して説明するかという事も考えながら，進めて参りたいと考えております。
中村会長	ありがとうございました。 他に追加で，何かございますか。 よろしければ，今日の議題でございますが，「呉市上下水道ビジョン 2024～2033（素案）に対する答申について」です。

	これまで３回に渡り審議会で審議を進め，各委員からそれぞれの立場で様々な意見，先ほど御意見がありましたように，市民の立場に立ってということで，いろいろ御意見をいただきました。 また，先ほども事務局から説明がありましたように，これまでの審議会での意見や，パブリックコメントによりいただいた市民からの御意見を入れて，上下水道局で素案の修正をされたところです。 この上下水道ビジョン（素案）について，前回の経営審議会で答申は会長の私に一任ということになりましたので，これまでの審議内容を踏まえ，私の方で，答申書を作成させていただきました。 答申書については，事務局から委員の皆様に事前にお配りし，御確認をいただいているものと思います。 さきほど，市民に対するということを忘れずにという御意見がございました。 内容についてですが，今後，さまざまな厳しい経営状況になってくる，それに対応する形で，市民サービスの向上につながる取組や，持続可能な上下水道づくりの取組が盛り込まれている点について，十分評価できると私自身も思っております。 一方で，施設を最適化する場合の留意点，長期間対応する必要があり，それから，アウトソーシングについては，検討する時期は先になるのかもしれませんが，それに対応するための十分に慎重な判断，経営上の組織力を維持できるという経営基盤が必要なのではないかと思います。 そして，水道・下水道のＳＤＧｓへの対応，さらには，広報の充実と，特に今も言われているように，市民目線での事業への関心，市民のための安心，安全意識の向上につながる取組をどんどん継続していくことが大切になってくると思います。 もちろん，それに対する経営努力，経費節減という点も大事でございますので，そういった事項を今後の事業に反映させるように，そういうことを記載しておりますので，これをもって審議会からの答申ということにいたします。 こういったことで，皆様方，御確認はいかがでしょうか。 先程，御意見もありましたけれども，今，説明いたしましたとおり，この答申書でもって経営審議会の答申とさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。
井手畑委員	すいません，答申案についてはこのままで，しっかりまとめられて，この議論された内容が反映されていると思いますのでこれはこれで結構だと思います。 １点だけ，気になるところが，最後の今後の厳しい経営状況とありますけれども，議論の中でも再三申し上げましたが，思った以上に人口減少が

	急速に進んでいるというような状況がありまして，ここではいったん計画は立てますが，人口動態を見据えながらより流動的に経営計画を変更するなり，ダイナミックな対応が，今後は必要になってくるかと思います。 例えば，整備手法自体を途中で見直さなければならないこともあろうかと思いますので，この最後のより効率的な取り組みを継続して検討し，と書かれてるところを，もう少し強い表現としていただけるといいかなというように感じました。
中村会長	ありがとうございます。 今回の答申では，こういう形でと思いますので，その点御了承いただくとして，今後，この審議会としても協力して，そういった方向に進むように，整理するといったことが必要だと思います。 私がずっとこの審議会にいるかも分かりませんが，それぞれの委員の立場から，どうしてもこういうことは必要だということを，ぜひ忌憚ない形で言っていただければ，それがこの経営審議会として，上下水道局の方へきちんと伝わっていくというように考えております。そういう形でぜひ，やっていきたいと考えております。 今回の答申ということで，これで御了承いただきたいと考えております。 以上です。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。 【異存なし】 ありがとうございます。
橋本委員	答申を作成いただきありがとうございます。 審議会の内容では，審議会での意見がいろいろあり，取りまとめるのは大変難しい部分もあったかと思いますが，今，会長の方にまとめていただいた内容で，よろしいと思っております。 特に今回，修正の中に，耐用年数，更新の話がありましたが，非常に難しい問題で，一筋縄では解決しないことであるかなと思っております。 今回，ビジョンでまとめられた内容は概ね妥当だと思っていますが，今後いろんな変化が生じるか，まだ見通せない中で，多分 10 年間の中でも，おそらく新しい事態が発生するということは十分考え得る状況かなと思っています。 今回の内容を踏まえながらも，そういった変化に対応していただくことが，上下水道経営に繋がるのではないかと考えております。 どうもありがとうございます。

中村会長	ありがとうございます。 こういった方向性，今おっしゃったとおり，なかなか難しい部分などがたくさん含まれておりますので，やはりそういった災害もそうですが，いろいろな突発的に起こる事にもきちんと対応できる形で，これまで，それから現在も対応していますので，今後ともそれが続けられるように，そういった市民の皆様の御理解をきちんと賜ることができるように，審議会がその一助となるようにしていきたいと考えております。以上でございます。
岡丸経営企画課主幹	それでは，会長の方から，答申書を管理者の方にお渡し願いたいと思います。 【会長から管理者へ答申書を手交】
中村会長	それでは本日の議題につきましては，以上でございますが，御出席の委員の方から本日の議題以外から，何か御意見，御提案ございませんでしょうか。
橋本委員	ビジョンの中にも入っていますが，子供たち，次の世代への水道教育というようなことがあります。 今現在，取り組まれている内容も大事だと思っていますが，やはり子どもたちの様子を見ていると，蛇口を捻ると水は自然に出てくるものだという，安心感というか，当たり前みたいなものがあるようで，あまり出ないという状況を想定してないような雰囲気があるように見受けられます。 もちろんそれは，とても大切なことだと思っていますが，やはりどうして水が出てくるのかということを，よく知っていただきたいなと思っておりまして，そうした時に，インフラ事業の水道事業の担当されてる方のそういった教育関係への協力というのをぜひお願いしたいなと考えているところです。 よろしくお願いいたします。
中村会長	ありがとうございます。
迫越委員	学校も今，トイレは全部洋式になるようになっております。 そうすれば，水のこともっと考えてくるのではないかなと思います。 そこは，しっかり分かってくれればいいんですけどね。
中村会長	ありがとうございます。

	今，橋本委員がおっしゃった教育，水のいわゆる教育については，とても大切だと思います。 私自身は，途上国の水環境について研究しております。私は 70 歳を超えておりますけれども，小さい頃は母がまだ井戸で毎朝，バケツに汲んできて，それを利用していました。田舎に産まれたものですから，それを見ておりますし，苦労をして水を手に入れていたという状況でした。 実は水道水は非常に安全ですし，昔はがぶ飲みしていました。 今は，子どもたちは水道水を飲もうとしないんですね。 そういった点もやはり，水は本当に貴重で，そして，ペットボトル水に換算すると 1 本 300 円ぐらいというのは，300 円だったら数百本買えるという，そういう違いがあるということを，子供たちはあまり知らないんですね。そういった点を，ぜひ，上下水道局の皆様方も，啓蒙するということはとても重要なことだと思います。 特に，次世代の子供たちにそういうことをきちんと分かっていただいて，そして水道は，いつも安全で，みんなが利用できるという教育を推進する必要があると思います。 他に特にございませんでしたら，この辺で，本日の審議を終了させていただきたいと思います。 進行を，事務局へお返し致します。
岡丸経営企画課主幹	はい。 それでは第１回の審議会から本日に至るまで，熱心に御審議をいただきましてありがとうございました。 この度の答申をいただいた呉市上下水道ビジョン（素案）については，１１月中の市議会へ報告し，その後，幅広く市民の皆様に当局の取組などを御理解していただけるよう，市政だよりなどを通じて公表していくこととしています。 それでは，終わりになりますが，澤村管理者から，御挨拶をさせていただきます。
澤村管理者	それでは，一言，御礼の御挨拶をさせていただきます。 中村会長をはじめ，審議会の皆様におかれましては，本当にお忙しい中，４回に渡りまして，呉市上下水道ビジョン案につきまして熱心な御審議をいただきまして，誠にありがとうございました。 本日，貴重な答申をいただきました。 この答申書に最後にまとめていただいております五つの意見，本当に貴重な意見だと思っておりますので，私どもといたしましてはこれを事業運営に着実に反映させていただきたいと思っております。

	先ほど事務局からもありましたようにこのビジョン案につきましては，11 月に呉市議会の方に報告をして，その後，正式に策定されますけれども，私はこれからが重要であり，また，大変だと思っております。 ビジョン案を作る上で出てきました，多くの課題，問題点，これらの抽出された課題，問題点にこれから優先順位をつけながら着実にそして計画的に実施していくかということが大変重要になってまいりますけども，この段階で，またいろいろと大変な問題が出てくると思っております。 そうした時にまた委員の皆様には，引き続き御相談をさせていただくことになろうかと思いますので，引き続き御指導御支援のほどよろしくお願いしたいと思います。 本当に，私としましては，いいビジョン案ができあがったと思っております。 これは審議会委員の皆様のおかげだと思っております。 本当に長い間ありがとうございました。 お世話になりました。
岡丸経営企画課主幹	それでは，これで，令和５年度第４回呉市上下水道事業経営審議会を終了させていただきます。予定しております審議会は本日までとなっております。 本日は，お忙しい中，誠にありがとうございました。